

パロキセチン錠を処方される先生方へ

社会不安障害（SAD : Social Anxiety Disorder）について

パロキセチン錠 5mg 「TSU」 / パロキセチン錠 10mg 「TSU」 / パロキセチン錠 20mg 「TSU」

製造販売元 鶴原製薬株式会社
大阪府池田市豊島北1丁目16番1号

社会不安障害の患者様の治療に際しては、以下のことを今一度ご確認くださいようお願い申し上げます。

社会不安障害（SAD）とは

人前で話をしたり文字を書くなどで人から注目されたり、人との関わりをもつ場面で、他人に悪い評価を受けることや人の視線を浴びる行動への不安や強い苦痛を感じる、またはそれによる身体症状が現れ、次第にそうした場面を避けるようになり日常生活に支障をきたすことを社会不安障害（SAD : Social Anxiety Disorder）といいます。

社会不安障害には、ほとんどの社会的状況において不安とを感じる場面で自己主張することに過度の恐怖を抱いている「**全般性**」と「人前で話す」「電話に出る」「注目を浴びる」などの特定の限られた状況のみで症状を示すものを「**非全般性**」とする2つのタイプがあります。

また主な症状としては以下のようなものがあります

- ①人前で話をする、電話の対応、人前で文字を書くといった人前での行為や会話などの状況で失敗するのではないか、恥をかくのではないかとといった強い不安・苦痛・緊張と紅潮、動悸、震え（手足、声、全身）、発汗、胃腸の不快感、下痢などの身体症状が生じます。
- ②身体症状を周囲に気づかれないように隠そうと努力するが、そのことがさらに不安となります。
- ③ これらの症状が起きるのではないかとずっと以前から心配する予期不安とこれらの状況を避けようとする回避行動によって大きな支障が社会生活に生じます。
- ④「うつ病」等の別の精神疾患を合併することがあり、不安な気持ちを回避するために「アルコール依存症」を引き起こすこともあります。

診断基準等

● LSAS

社会不安障害の症状の重症度や治療の効果を評価する尺度として、LSAS (Liebowitz Social Anxiety Scale) が海外で広く使用されており、日本語版は LSAS-J と呼ばれています。LSAS は 24 項目で構成され、さまざまな社会的状況について恐怖や不安の程度と回避の程度を 0 ～3 の 4 段階で採点し、その合計点で評価します。

Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版 (LSAS-J)

お願い：この 1 週間にあなたが感じていた様子に最もよく当てはまる番号を、項目ごとに 1 つだけ選んで記入して下さい。項目をとばしたりせずに全部埋めて下さい。

	恐怖感/不安感				回避			
	0	1	2	3	0	1	2	3
	0 : 全く感じない				0 : 全く回避しない			
	1 : 少しは感じる				1 : 回避する (確率 1/3 以下)			
	2 : はっきりと感じる				2 : 回避する (確率 1/2 程度)			
	3 : 非常に強く感じる				3 : 回避する (確率 2/3 以上 または 100%)			
1. 人前で電話をかける (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
2. 少人数のグループ活動に参加する (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
3. 公共の場所で食事をする (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
4. 人と一緒に公共の場所でお酒 (飲み物) を飲む (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
5. 権威ある人と話しをする (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
6. 観衆の前で何か行為をしたり話しをする (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
7. パーティーに行く (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
8. 人に姿を見られながら仕事 (勉強) する (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
9. 人に見られながら字を書く (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
10. あまりよく知らない人に電話をする (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
11. あまりよく知らない人達と話し合う (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
12. まったく初対面の人と会う (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
13. 公衆トイレで用を足す (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
14. 他の人達が着席して待っている部屋に入って行く (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
15. 人々の注目を浴びる (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
16. 会議で意見を言う (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
17. 試験を受ける (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
18. あまりよく知らない人に不賛成であると言う (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
19. あまりよく知らない人と目を合わせる (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
20. 仲間の前で報告をする (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
21. 誰かを誘おうとする (P)	0	1	2	3	0	1	2	3
22. 店に品物を返品する (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
23. パーティーを主催する (S)	0	1	2	3	0	1	2	3
24. 強引なセールスマンの誘いに抵抗する (S)	0	1	2	3	0	1	2	3

P : Performance (行為状況), S : Social interaction (社交状況)

● DSM-5

DSM (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders : 精神疾患の診断・統計マニュアル) とは、米国精神医学会 (APA : American Psychiatric Association) が定めた精神疾患の分類と診断の手引きです。

その苦痛の強さや生活への支障の程度によって診断され、多くの国で広く用いられています。

DSM の項目にどれだけ該当するか確認します。

<DSM-5 における社会不安障害の診断基準>

- A. 他者の注視を浴びる可能性のある 1 つ以上の社交場面に対する、著しい恐怖または不安。
例として、社交的なやりとり (例 : 雑談すること, よく知らない人に会うこと), 見られること (例 : 食べたり飲んだりすること), 他者の前でなんらかの動作をすること (例 : 談話をすること) が含まれる。
注 : 子どもの場合, その不安は成人との交流だけでなく, 仲間達との状況でも起きるものでなければならない。
- B. その人は, ある振る舞いをするか, または不安症状を見せることが, 否定的な評価を受けることになるかと恐れている (すなわち, 恥をかいたり恥ずかしい思いをするだろう, 拒絶されたり, 他者の迷惑になるだろう) 。
- C. その社交的状況はほとんど常に恐怖または不安を誘発する。
注 : 子どもの場合, 泣く, かんしゃく, 凍りつく, まといつく, 縮みあがる, または, 社交的状況で話せないという形で, その恐怖または不安が表現されることがある。
- D. その社交的状況は回避され, または, 強い恐怖または不安を感じながら耐え忍ばれる。
- E. その恐怖または不安は, その社交的状況がもたらす現実の危険や, その社会文化的背景に釣り合わない。
- F. その恐怖, 不安, または回避は持続的であり, 典型的に 6 カ月以上続く。
- G. その恐怖, 不安, または回避は, 臨床的に意味のある苦痛, または社会的, 職業的, または他の重要な領域における機能の障害を引き起こしている。
- H. その恐怖, 不安, または回避は, 物質 (例 : 乱用薬物, 医薬品) または他の医学的疾患の生理学的作用によるものではない。
- I. その恐怖, 不安, または回避は, パニック症, 醜形恐怖症, 自閉スペクトラム症といった他の精神疾患の症状では, うまく説明されない。
- J. 他の医学的疾患 (例 : パーキンソン病, 肥満, 熱傷や負傷による醜形) が存在している場合, その恐怖, 不安, または回避は, 明らかに医学的疾患とは無関係または過剰である。

▶ 該当すれば特定せよ

パフォーマンス限局型 : その恐怖が公衆の面前で話したり動作をしたりすることに限定されている場合

高橋 三郎ほか訳 DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル P200-201(2014) 医学書院より引用

DSM-IV から DSM-5 での変更点 :

- ・ DSM-IV-TR では, 症状が過剰であることや不合理であることを患者自身が認識していることとされていましたが, DSM-5 では削除され, 医師が判断することに変更されました。
- ・ DSM-5 では全ての年齢層において症状の持続期間が 6 カ月以上と設定されました。

パロキセチンについて

- この薬は、選択的なセロトニン（5-HT）取り込み阻害作用を示し、神経間隙内の 5-HT 濃度を上昇させ、反復経口投与によって 5-HT_{2C} 受容体の down-regulation を誘発することにより、抗うつ作用及び抗不安作用を示すと考えられています。
- 社会不安障害の診断は、DSM 等の適切な診断基準に基づき慎重に実施し、基準を満たす場合にのみ本剤を投与してください。
通常、成人には 1 日 1 回夕食後、パロキセチンとして 20mg を経口投与してください。投与は 1 回 10mg より開始し、原則として 1 週ごとに 10mg/日ずつ増量してください。なお、症状により 1 日 40mg を超えない範囲で適宜増減してください。
- パロキセチン投与中の患者様で、副作用があらわれた場合は、すぐに相談するようご指導ください。

お問い合わせ先

鶴原製薬株式会社 医薬情報部

〒563-0036

大阪府池田市豊島北 1 丁目 16 番 1 号

TEL : 072-761-1456 (代表)

FAX : 072-760-5252

2015 年 2 月作成